

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## セーレン株式会社（証券コード: 3569）

### 【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的

### ■格付事由

- (1) 繊維製品企画・製造・販売業の大手。事業領域は車輻資材（シート材など）のほか、ハイファッション（各種衣料製品など）、エレクトロニクス（電磁波シールド材、高機能・特殊繊維など）、メディカル（医療用資材、化粧品など）、環境・生活資材（住宅資材など）と幅広い。原糸から縫製までの一貫生産体制を生かし、主力のシート材以外にも競争力の高い製品を有している。
- (2) 業績は好調を維持している。車輻資材では、海外を中心に差別化商品の販売が増加している。また、車輻資材以外でも、利益に貢献する新製品が育ってきた。製品の高付加価値化などで利益率も向上しており、堅調な業績が続くと JCR では想定している。引き続き広範な領域で事業基盤強化を進めることで、中長期的な安定成長につなげられるか注目していく。財務諸指標は良好であり、今後も改善の方向性が維持されよう。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 18/3 期営業利益（会社計画）は 105 億円（前期比 8.8%増）と 3 期連続で最高益を更新する見通し。原料価格や為替の変動に留意する必要があるが、19/3 期以降も安定した利益を確保可能とみられる。シート材では機能性に優れた合成皮革の受注が増加している。これに対応すべく中国やメキシコでの設備増強を実施しており、利益押し上げ要因となると考えられる。成長戦略も実績化しており、エレクトロニクスでは繊維で培った技術を生かした製品が採用を伸ばしている。一方、ハイファッションは事業環境悪化もあり売上高が低下傾向となっている。他の事業に比べ利益率も低く、改善に向けた取り組みに注目していく。
- (4) 財務諸比率は 10/3 期以降、ほぼ一貫して改善している。18/3 期第 3 四半期末の自己資本比率は 62.7%、D/E レシオ 0.17 倍と良好な水準にある。また、手元流動性も厚く、17/3 期末からネットキャッシュポジションに転じている。新興国を中心に旺盛な需要の捕捉に向けた投資が続く可能性はあるが、キャッシュフロー創出力が着実に向上していることなどから、引き続き、健全な財務状況が維持されると JCR では考えている。

（担当）藤田 剛志・坂井 英和

### ■格付対象

発行体：セーレン株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年3月7日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) セーレン株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル